

作目名	たまねぎ
-----	------

作型名	マルチ栽培
-----	-------

月 旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
マ ル チ	○ — [] — △ —————																																				貴 錦
	————— [] —————																																				極早生種 浜 育
栽 培	○ ————— [] —————																																				七宝早生7号
	————— [] —————																																				青切早生種 ソニック
○ ————— [] —————																																				七宝甘70	
————— [] —————																																				さつき 貯蔵種 アース	

○ は種 △ 定植 [] マルチ [] 収穫

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

岐阜、西濃、中濃

(2) 立地条件

①気象条件

春季は、比較的温暖な地帯であること。

②ほ場条件

ア 耕土は、深く、排水良好なほ場であること。

イ 腐植を多く含んだ砂壤土もしくは壤土が望ましい。

ウ 排水が悪い水田で栽培する場合は、高うね栽培とする。

③栽植株数（10a当たり）

25,000～28,000本

(3) 目標収量（10a当たり）

極早生種 4.5～6.0 t 青切早生種 5.0～6.0 t 貯蔵種 6.0～6.5 t

○施肥基準

(1)施肥基準量 (10a当たり成分量・kg)

施肥成分	本 ぽ 総 量		基 肥	追 肥		育苗ほ (g/m ² 当たり)	
				1	2	総 量	基 肥
窒 素	化学肥料由来	18.4	12.0	3.2	3.2	27	27
	有機質肥料由来	3.2	3.2				
窒素成分合計		21.6	15.2			27	27
りん 酸	26.4		26.4			53	53
加 里	20.8		14.4	3.2	3.2	27	27

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効肥料成分を測定し、それを施肥基準量から差し引き肥料の施用量を決定する。
- 2 耕起前に10a当たり完熟堆肥は、2～4t、苦土石灰100kg、BM重焼リン40kg施用しておく。
- 3 元肥は、有機質肥料と緩効性肥料を全層に施し、よく土壌混和する。
- 4 追肥は、2月～3月上旬に降雨前にポリマルチ上に施用する。